

## 彩の国資源循環工場環境調査（ダイオキシン類）結果について

埼玉県環境部

1 経緯

平成18年10月24日に実施した防災調節池の雨水最終排水口における水質調査において、ダイオキシン類濃度が、参考としている環境基準の示す値（1.0pg-TEQ/l以下）を上回っていたので、ダイオキシン類の流入経路を把握するため、追跡調査を実施しました。

2 追跡調査の結果

追跡調査は、平成19年9月から10月にかけて、雨水排水を5か所、周辺土壌を5か所で採取し、雨水排水については、ダイオキシン類がどのように存在しているかを調査するため、分析を行いました。

(1) 防災調節池の雨水最終排水口におけるダイオキシン類は、懸濁物質（土砂等）に付着していることがわかった。

また、上流部の調査でダイオキシン類は、主に一般的な土壌に由来するものと推定された。

一部で焼却に由来するものがみられたが、これは雨水排水の集水域の大半が道路であることから、道路に付着している塵等が流入したものと考えられ、通行車両の影響が大きいと推察される。

(2) 防災調節池の水質・底質調査においては、昨年度同様、参考としている環境基準値を十分下回り外部への影響は認められなかった。

3 今後の対応

上記の調査結果を踏まえ、防災調節池への懸濁物質（土砂等）の流入を低減するため、次の対策を講じるとともに、定期の環境調査等を充実・強化し、注意深く観察していきます。

- ・ 車両、路面、雨水排水路、事業場内等の清掃管理の徹底
- ・ 雨水排水路周辺裸地の植栽